

2020 活動報告書



大山乳業農業協同組合

あなたへ贈る 「白の一滴、心の一滴」 —酪農家の心を食卓へ—

大山乳業農業協同組合は、生産・処理・販売一貫体制の酪農専門農協として、公正で正直な行動により、組織・事業・経営の革新を図り、社会的役割と責任を果たすことを基本理念としています。純白の牛乳一滴一滴にまごころを込め、酪農家の心をそのままお届けします。

■ 組合概要

名 称	大山乳業農業協同組合
代表者	代表理事組合長 小前 孝夫
所在地	鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
設 立	昭和21年7月21日
出資金	8億7,094万円
取扱品	牛乳、成分調整牛乳、乳飲料、 発酵乳、乳製品、アイスクリー ム、菓子等

■ 大山乳業農業協同組合の「心」

大山乳業農業協同組合のシンボルマークは「白バラ」です。「白バラ」の花言葉には、正直・純粋・そして「あなたにふさわしい」という意味が込められており、「白バラ」のように純粋で純良な牛乳の生産を原点として、心のふれあいを大切に、これからも人々の健全な暮らしづくりのために貢献して参ります。



登録商標 / 白バラ

■ 大山乳業農業協同組合のブランドビジョン

70周年を境に私たちが目指すこと

大山乳業農協では、創立70周年を境に7つのブランドビジョンを策定しました。このビジョンは、10年後、20年後の大山乳業農協はこうあるべき、という未来の姿です。

1. 私たちは「大山乳業＝白バラ」「白バラ＝鳥取のもの」というイメージの強化に全力を尽くします。
2. 私たちは一緒に働く仲間に、より強い関心を持ち、積極的に声をかけるカルチャーをつくります。
3. 私たちはユニーク性にこだわり、商品や情報発信で地域や業界を明るく楽しく、にこっと笑顔にさせる挑戦をしていきます。
4. 私たちは＜大山乳業＞のファンを楽しみながらつくっていきます。
女性から人気の組織になり、「ここで働きたい」と言われる職場をつくります。
5. 私たちは酪農家が次世代にとって“憧れの職業”になるように、日々響くメッセージを発していきます。
6. 私たちは業界で「いちばん先にやる」を大切にし、“提案する組織”であり続けます。ニュースを生み、年に100回以上メディアに登場します。
7. 私たちは安心・安全とブランド力を強化して、地域・業界での存在感を高めていきます。そして工場見学者を年間1万人以上にします。

白バラ認証制度

初年度認証牧場誕生、そして次のステップへ

2019年4月、良質生乳生産に関わる牧場の衛生管理を評価する大山乳業農協の独自認証制度「白バラ認証制度」が始動しました。

2年目を迎えた2020年。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、春の巡回審査に多少の遅れがあったものの、秋の巡回審査そして12月に行われる認証審査委員会も無事に終わり令和2年度の認証牧場に認証プレートが贈られます。

また、宅配向けのチラシ・冊子、生協店舗へE-POPの設置を進めるなど、「大山乳業農協＝白バラ認証」というイメージに繋がる取り組みにも力を入れています。

より安心・安全、そして良質な製品を届ける為、今後も鳥取県全体で丸となって取り組んでいきます。

酪農現場の仕事の効率化

白バラ認証制度に取り組むことで、生産者の意識の変化も生まれました。牛舎の清掃、鍵付きの薬品庫の新調、天井の張替えや鍵付き扉への買い替えなど施設の整備や仕事の効率化にもつながりました。



巡回審査のようす



整頓された牛舎内

白バラ認証制度のPR活動

メディアの露出やテレビ番組での紹介、チラシや冊子、E-POPを活用し宅配・生協・量販店といった様々なシーンで白バラ認証制度のPR活動に取り組みました。



チラシ・冊子



E-POP

災害に備えて

様々なリスクに強い乳業工場を目指して

近年、自然災害の多発により食品製造工場では災害に備えた対策が進んでいます。

鳥取県内唯一の乳業工場である大山乳業農協は、災害時の大規模停電に生乳の受け入れと工場稼働に関わる電力を確保し、鳥取県内の酪農を守る乳業工場として、非常用発電機を新たに設置しました。

これにより、大規模停電に見舞われた際にも自組合で生乳の受け入れ・製品の製造を継続することが可能となりました。

あわせて60tサイロタンクも増設し、受け入れ量の増加にも対応できる設備を整えています。



生乳貯乳タンク(60tサイロタンク)増設事業

設置場所	第1工場北側
施工期間	令和2年7月～令和2年12月
能力	60tサイロタンク



設置工事のようす①



設置工事のようす②

乳業工場非常用電源緊急整備事業

設置場所	第1工場東側
施工期間	令和2年9月～令和3年1月
能力	1,000kw



起動式のようす



完成設備

市乳新ライン増設

キャップ付きゲブルパック製造開始

導入から17年が経過した市乳のゲブルラインについて、メーカーサポートの終了が迫るなか、大山乳業農協では新たにゲブルラインを1ライン増設しました。

これにより今後ゲブルラインの更新の際にも、製造数を維持できるほか、メンテナンス時間が確保できるようになりました。

今回導入した新ラインは中国地域の農協系プラントでは初めてキャップ付きゲブルパック製造が可能なラインを採用し、消費者のニーズにこたえる製品づくりにも取り組みます。

市乳新ゲブル充填機ライン

設置場所	第1工場 1階市乳ライン
施工期間	令和元年11月～令和2年2月
能力	7,000本/時間



新容器「白バラからだにカルシウム+鉄」

キャップ付き

900ml

新ゲブル充填機ラインで製造されたキャップ付きゲブルパック製品第1号。

商品特徴

コップ1杯半(300ml)で1日分のカルシウム・鉄・ビタミンDを摂る事が出来ます。日本食品標準成分表2015の普通牛乳に比べ、脂質75%カット・カルシウム2倍。

毎日飲んでも飽きのこないのど越しすっきり低脂肪タイプの乳飲料です。

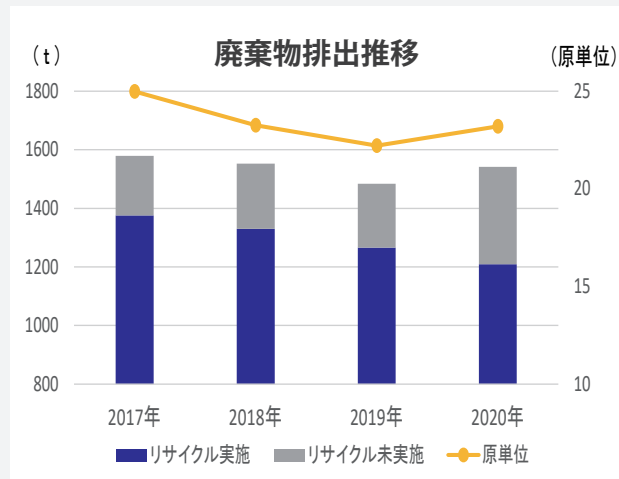
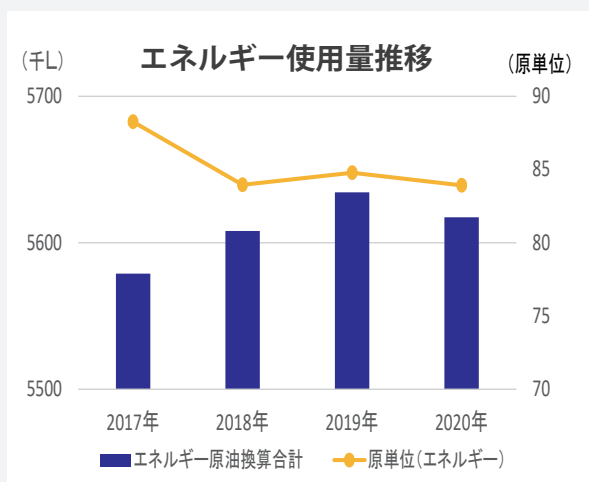
令和2年11月28日発売

<販売チャネル>

宅配・生協・量販・ベンダー



エネルギー使用状況 / 廃棄物の排出状況



まずエネルギー使用量に関して前年対比原単位 1 % 低減を例年目標としております。2020年は前年対比 99 % となっており、目標を達成いたしました。エネルギーを多量に使用している設備の更新や、職員による清掃を呼びかけ稼動効率を上げたことが要因と考えられます。しかしながら、廃棄物に関しては、昨年に比べ発生量原単位共に増加する結果となってしまいました。大きな要因は、家畜の餌として一部再利用されていた廃乳や残渣が、取引先の廃業により全て廃棄物として処分されるようになったことがあげられます。

省エネ機器の導入

①第1工場チルド冷凍機更新

第1工場で冷水を作るチルド冷凍機で冷媒にフロン22を使用していた設備を自然冷媒のアンモニア冷凍機に更新し環境面と省エネに配慮する取り組みを行いました。更新前の冷凍機と比較し蓄熱容量が増加した事で夏期の電力ピークの高い時間帯に冷凍機を停止させ、契約電力を下回る運転ができました。また工場の負荷変動が大きい場合の追従運転が可能となり安定した冷却ができました。

2020年は製造量も多くそれに伴い、既設冷凍機との併用で状況に合った運転を行いその結果、チルド設備におけるエネルギー原単位は 99.1 % の実績となりました。



②第2工場1階空調機更新

第2工場1階製造室で使用する空調機は設置より20年以上経過しており、その間に老朽化も進み故障による修繕が頻繁に行われてきました。また使用期間中における汚れ等の影響もあり、機器能力が低下している事から昨年7月に更新を行いました。

第2工場全体の電気使用量は更新前は増加傾向にありましたが、更新後の7月以降で減少傾向となりました。

その結果、前年と比較し製造量は増加しているにもかかわらず、年間で 14,122 kWh の削減ができました。



牛乳月間 知事訪問

牛乳月間にもっと牛乳を飲もう！

大山乳業農協では6月の牛乳月間に合わせ、平井鳥取県知事を表敬訪問しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年より少人数で訪問しました。



大山乳業農協から元気を！

今年度は、新型コロナウイルスの影響で学校給食牛乳の出荷停止や、夏の暑さによる出荷量の減少などがありましたが、自粛期間中は大山乳業農協から元気を届けるコンテンツを発信しました。

今年は「丑年」。未だ収束の見通しが立たない新型コロナに負けず、大山乳業農協は一步步前進していきます！

Instagram



#白バラ牛乳フォトコンテスト

今年度は353点の応募があり、ユニークな写真や、可愛い写真など様々な写真が投稿され、多くのお客様が参加されました。

YouTube



工場見学動画

コロナ禍の「おうち時間を楽しく過ぎて頂こう」と、工場見学休止中にカウィーと一緒に工場見学が楽しめる動画を作成しました。



絵本の読み聞かせ動画配信

現役酪農家のよしだゆみさん作の絵本「ごんいちしはもんちゃん」の読み聞かせ用の動画を配信し、親子で楽しめるツールを提供しました。



みるくレシピ動画

プラスワンプロジェクトで、牛乳を使ったレシピが注目されました。大山乳業農協でもみるくレシピを動画にし紹介しました。



牛乳パック工作動画

牛乳パックを使った簡単な工作動画を2種類公開しました。飲み終わった牛乳パックを使って親子で楽しく遊んで頂けます。

誰もが働きやすい環境づくり

職場のバリアフリー化

障害を持った方が働きやすい環境を目指し、第1工場のさらなるバリアフリー化を進めました。



障害者用カーポートの設置



スライドドア・スロープ等の設置

社会貢献活動

これからも地域と共に

大山乳業農協は企業の社会的責任を果たすため、さまざまな社会貢献活動を行いました。



給食週間 小学校へ出張授業



琴浦町社会福祉協議会へ製品寄付



鳥取県生協のフードドライブへ協力



地域の子ども食堂へ製品寄付



大山乳業農業協同組合

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保 37-1
TEL.0858-52-2211 (代) FAX.0858-53-1501
<https://dainyu.or.jp>